



博多松ばやし
稚児舞



今宿青本
獅子舞



玄清法流
盲僧琵琶



福岡市 民俗芸能 公演

元岡祇園ばやし



香椎宮奉納
獅子楽



私たちの暮らしの中で演じられ、生活を彩ってきた民俗芸能。
普段はそれぞれの季節に、それぞれの地域で演じられ、大切に守り伝えられてきた
市内の5つの民俗芸能が、市指定有形文化財の住吉神社能楽殿で一堂に会します。
これまで民俗芸能を育ててきた福岡市の歴史・文化を感じてください。

入場無料
当日先着順
定員250人
※未就学児も入場可

日時 平成30年 **10月28日** (日)
開場:13時半 / 開演:14時 (16時半終演予定)

会場 **住吉神社能楽殿**
(福岡市指定有形文化財)
福岡市博多区住吉3丁目1-51 住吉神社境内

主催:福岡市文化財活性化実行委員会



福岡県指定無形民俗文化財

かしい ぐう ほうのう し し がく
香椎宮奉納獅子楽

福岡市東区
香椎宮奉納獅子楽保存会

香椎宮の氏子で構成される獅子楽保存会が、4月と10月に香椎宮で行われる春秋の両大祭に奉納している獅子楽です。起源は定かではありませんが、香椎宮の記録には、延享元年(1744)に、廃絶していた旧来の祭祀を復興し、獅子楽を奏したとの記載が見え、大太鼓の墨書などから、江戸時代中期に存在していたことが知られます。2人立ち雌雄2頭の獅子舞と、大太鼓・小太鼓・笛・銅拍子の囃子から成り、子供も出演します。

福岡市指定無形民俗文化財

もとおか ぎおん
元岡祇園ばやし

福岡市西区
元岡祇園ばやし保存会

元岡祇園ばやし保存会が、地域の氏神である八坂神社の祇園祭で奉納するお囃子です。明治初頭に上演されたのが始まりと言われ、昭和10年まで続けられましたが、戦時中に中断を余儀なくされ、昭和40年に復活して現在に至っています。太鼓、三味線、笛、鉦で構成され、お囃子終盤には、太鼓の打ち手が華麗な撥さばきで太鼓を打ち鳴らします。



福岡県指定無形文化財

げんせい ほうりゅう もう そう び わ
玄清法流盲僧琵琶

福岡市南区
玄清法流盲僧琵琶保存会

南区高宮にある成就院は、琵琶を弾いて荒神祭を行う天台宗玄清法流を統括する寺院です。ここに伝承される盲僧琵琶は、市指定の無形文化財である筑前琵琶の源流とされています。毎年夏に行われる施餓鬼供養などで、観音経や般若心経が読誦される際に、太鼓や突拍子と共に琵琶が演奏されます。



福岡市指定無形民俗文化財

いまじゆく あおき し し まい
今宿青木獅子舞

福岡市西区
今宿青木獅子舞保存会

旧糸島・早良郡下に流布していたとみられる演劇的要素の強い獅子舞です。伝播の経路は詳かではありませんが、江戸時代には存在していたと考えられています。その後、いくたびかの中断、復活などを経て、昭和50年に再び復活しました。毎年、正月元旦に地域の神社に奉納されているほか、祭典や落成式その他の催しに招かれて上演されています。獅子は2人立ち1頭で、太鼓と笛のお囃子が入ります。



国選択・福岡県指定無形民俗文化財

はかた まつ ち ご まい
博多松ばやし稚児舞

福岡市博多区
博多松ばやし稚児西流

5月3日・4日の「博多どんたく」の中で行なわれている「博多松ばやし」は、本来は小正月(旧正月15日)の行事で、今なお中世芸能の趣がよく残されています。江戸時代の福岡では、松ばやしの一行が年頭の祝儀として福岡城を訪れることが恒例となっていました。博多松ばやしは、福神・恵比須・大黒の三福神と、稚児・通りもんからなります。稚児舞は、天冠をかぶった舞衣・緋袴姿の女兒が、男児によって奏される囃子と、大人による謡に合わせて舞うものです。



お問い合わせ

福岡市経済観光文化局文化財活用部文化財活用課
TEL.092-711-4862
FAX.092-733-5537

会場

住吉神社能楽殿
福岡市博多区住吉3丁目1-51 住吉神社境内

アクセス情報

- JR博多駅・地下鉄博多駅より徒歩約10分
- 西鉄バス「住吉」下車、徒歩約2分



駐車場はありません。
公共の交通機関をご利用ください。